

## 第2編

---

### 市民等の意向

## 2.1 市民等の意向調査の概要

### (1) 目的

市民の意向を反映した計画を策定するため、住民及び公共交通利用者(鉄道利用者、バス利用者)、高校生(阿賀野高校)に対し意向調査を行い、現状や課題、改善内容などを把握した。

### (2) 調査対象

意向調査は、阿賀野市の住民と公共交通利用者(鉄道利用者、バス利用者)、高校生(阿賀野高校)に対して、アンケート方式で行った。

阿賀野市住民(19歳以上)

公共交通利用者

高校生(阿賀野高校)

### (3) 配布物

意向調査における配布物は、下記のとおりとした。

	住民	公共交通利用者	高校生
依頼文(A4判)			
調査票(A3判)			
PR紙等(阿賀野市営バス路線図：A3判)			
その他	記入用ボールペン		-
	配布用封筒	-	-
	回収用封筒		-

表 アンケート調査の内容

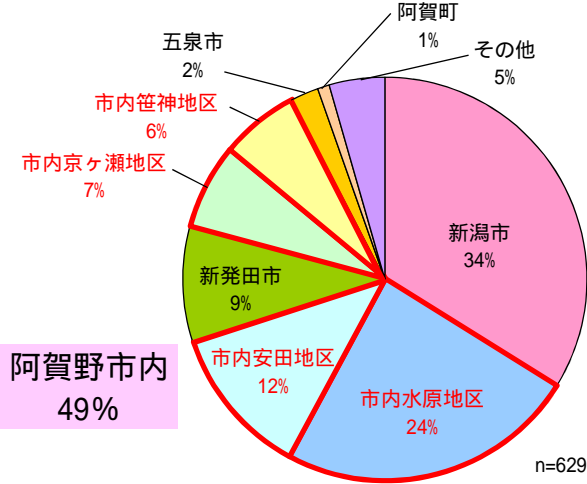
調査対象	住民	公共交通利用者	高校生
実施目的	公共交通が現在どのように利用されているかを把握するとともに、その改善ニーズと改善後の需要量を把握した。		通学・帰宅時に公共交通がどのように利用されているかを把握するとともに、その改善ニーズを把握した。
配布対象	・阿賀野市全域 (19～89歳、自治会別人口比、外国人を除き、無作為で抽出)	・鉄道利用者 ・バス利用者	・阿賀野高校生：全員
配布・回収方法	・郵送配布 ・郵送回収	・直接配布 ・郵送回収	・学校を通じて配布 ・学校を通じて回収
配布数	2,822 票	641 票	472 票
回収率	43.6% (1,231 票)	24.3% (156 票)	94.9% (448 票)
調査項目 (設問内容)	特定日の外出目的と目的地、交通手段 バスの利用状況 バスの改善ニーズ バスの改善後の利用意向 鉄道の利用状況 鉄道の改善ニーズ 鉄道の改善後の利用意向 その他、自由意見 属性	配布日の外出目的と目的地、利用公共交通、乗車・下車までの交通手段 利用した理由 バスの利用状況 バスの改善ニーズ バスの改善後の利用意向 鉄道の利用状況 鉄道の改善ニーズ 鉄道の改善後の利用意向 その他、自由意見 属性	朝通学時の交通手段 夕方帰宅時の交通手段 公共交通に対する満足度 バスの改善ニーズ 鉄道の改善ニーズ その他、自由意見 属性

## 2.2 住民の意向の概要

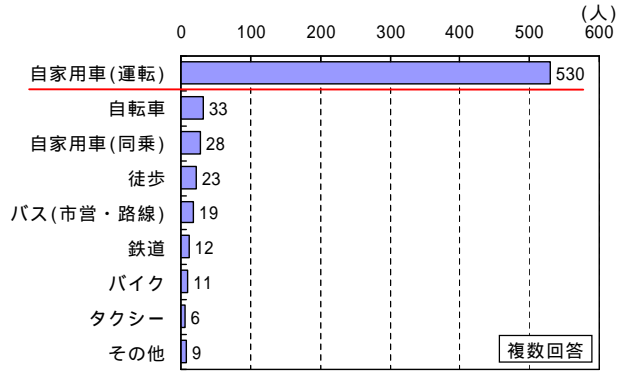
### 外出目的と交通手段

日常の外出時の目的地は、目的に左右されることなく阿賀野市内が多く、その移動手段は自動車が多い。

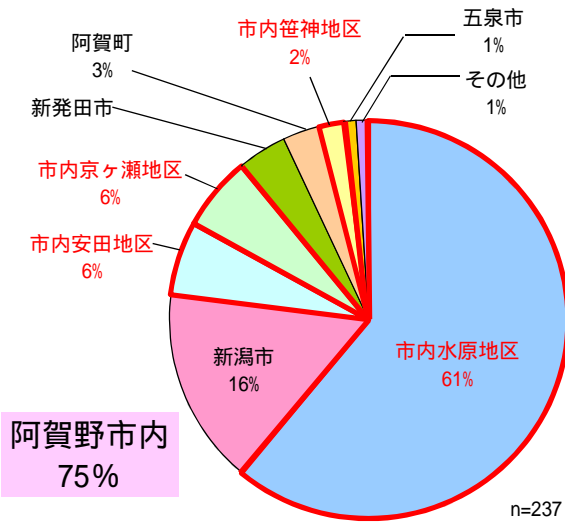
#### 【通勤の場合の目的地】



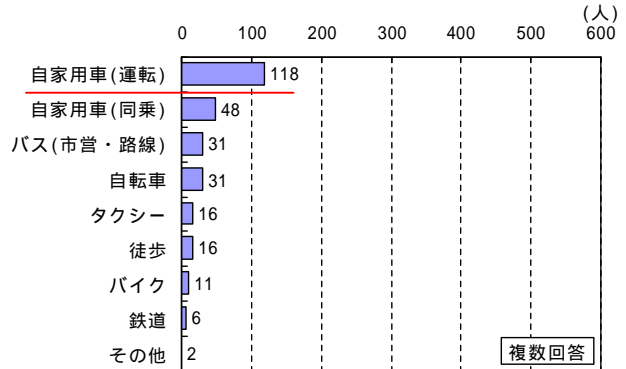
#### 【通勤の場合の利用交通手段】



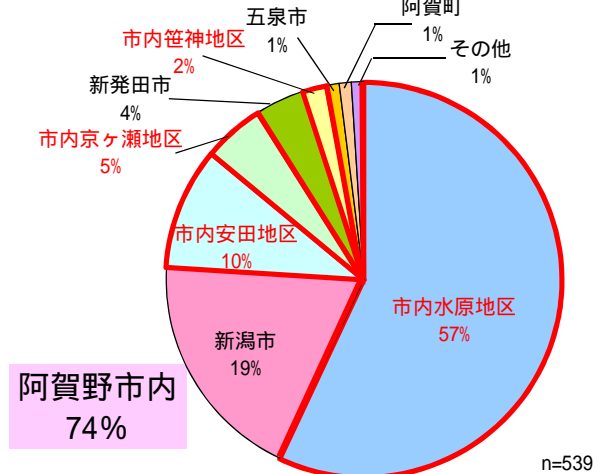
#### 【通院の場合の目的地】



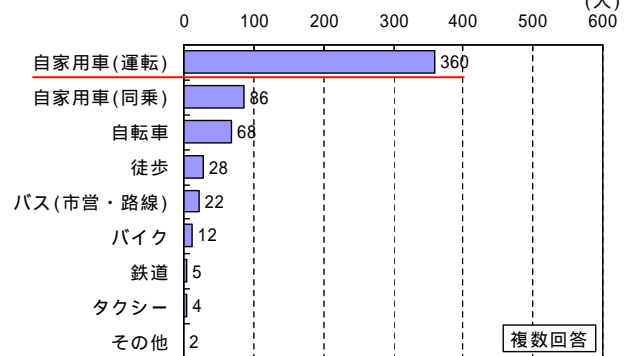
#### 【通院の場合の利用交通手段】



#### 【買い物の場合の目的地】



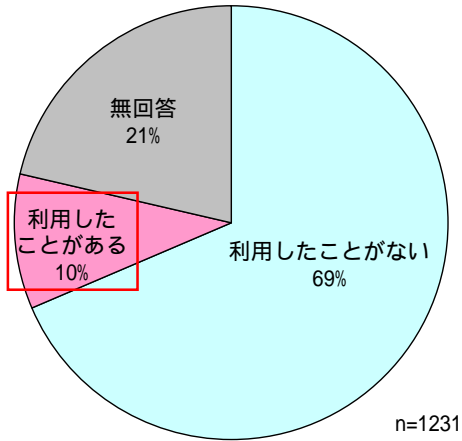
#### 【買い物の場合の利用交通手段】



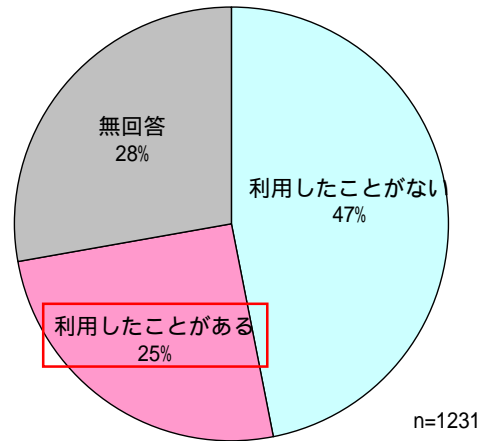
## バスの利用状況

バスの利用状況は、市営バスより路線バスの利用者数が多い。利用頻度は、市営バスで10回未満/年が52人(利用者の42%)、路線バスの利用頻度が10回未満/年が231人(利用者の74%)となっており、共に利用頻度は高くない。

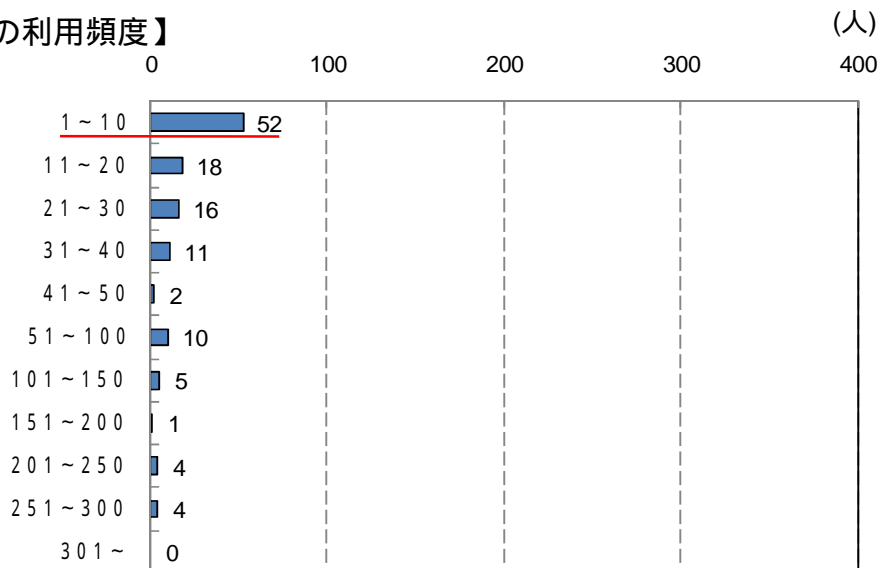
【市営バスの利用状況】



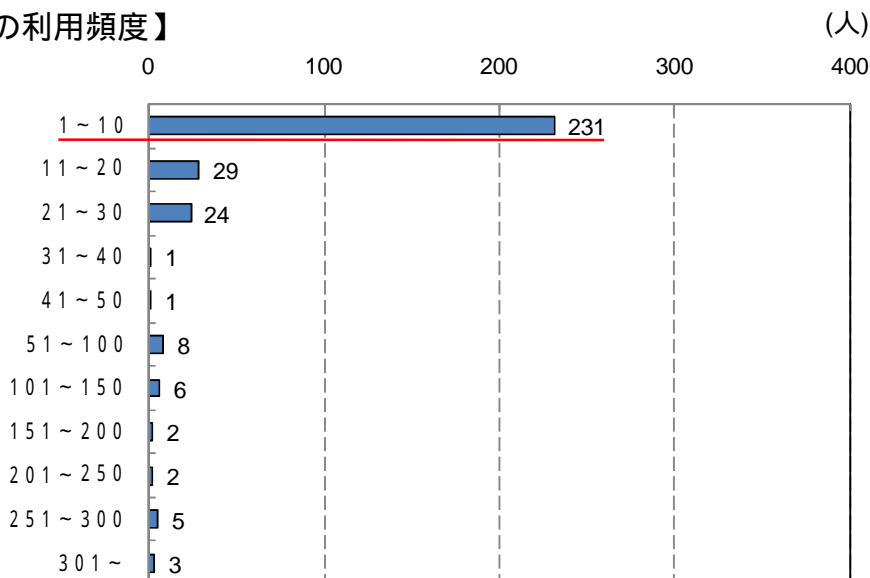
【路線バスの利用状況】



【市営バスの利用頻度】



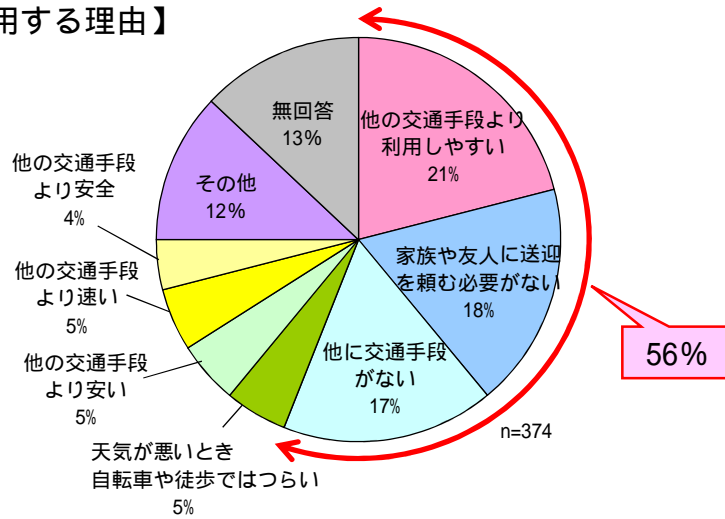
【路線バスの利用頻度】



## バスを利用する理由

「他の交通手段より利用しやすい」、「送迎を頼む必要がない」、「他に交通手段がない」で56%を占めている。

### 【バスを利用する理由】

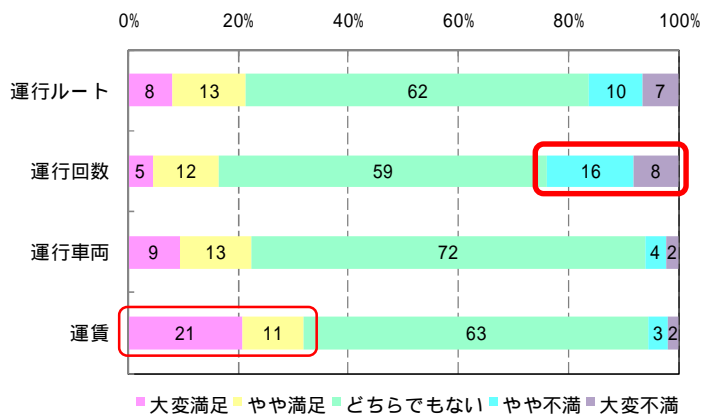


## バスの満足度

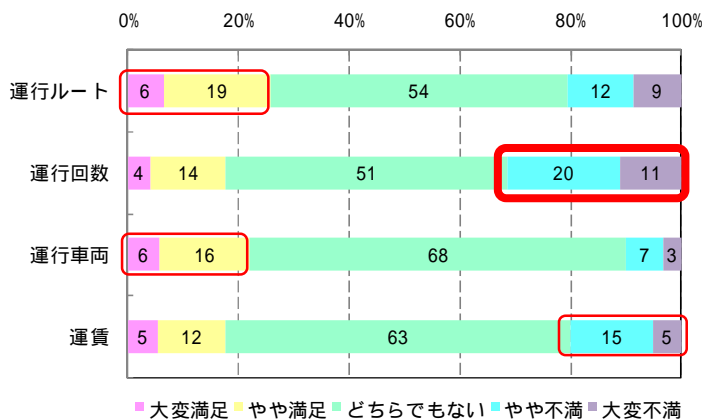
市営バスは「運賃」で満足度が高い。路線バスは「運行ルート」「運行車両」の満足度が高いが、「運賃」への不満が高い。

また「運行頻度」については、市営バス、路線バスともに不満が高い。

### 【市営バスの満足度】

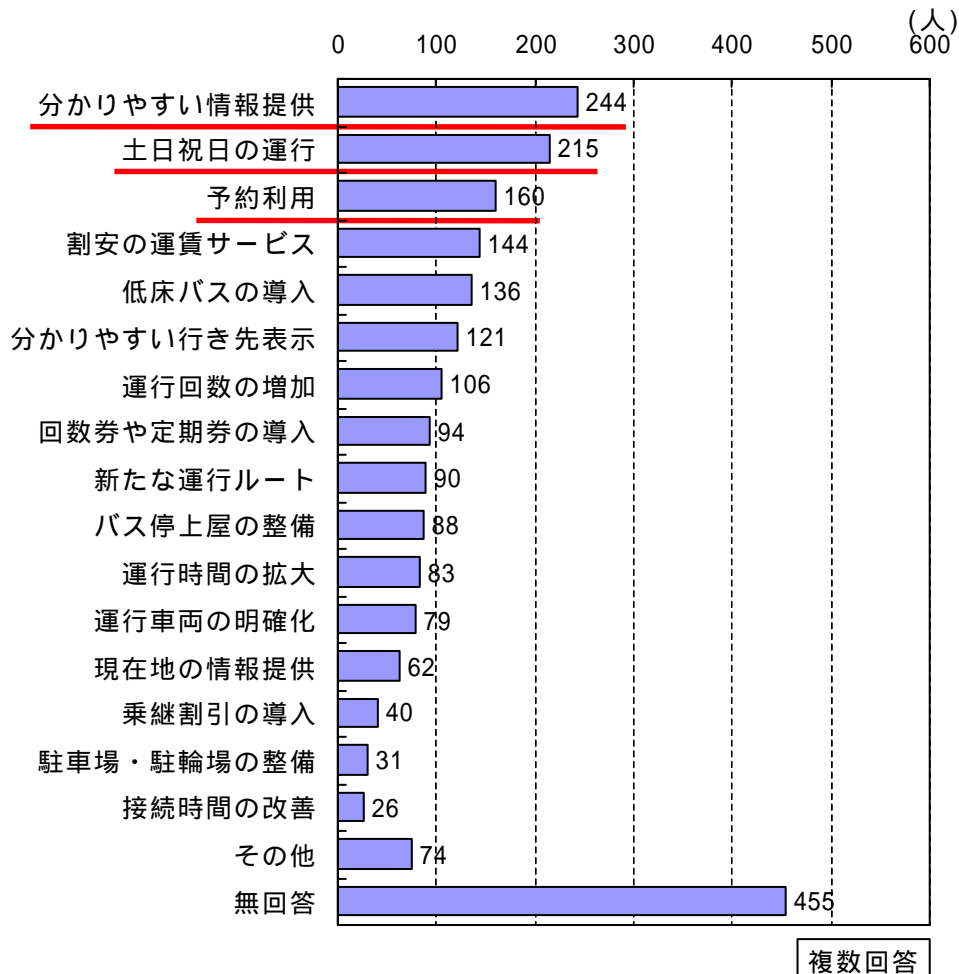


### 【路線バスの満足度】



## バスの改善要望

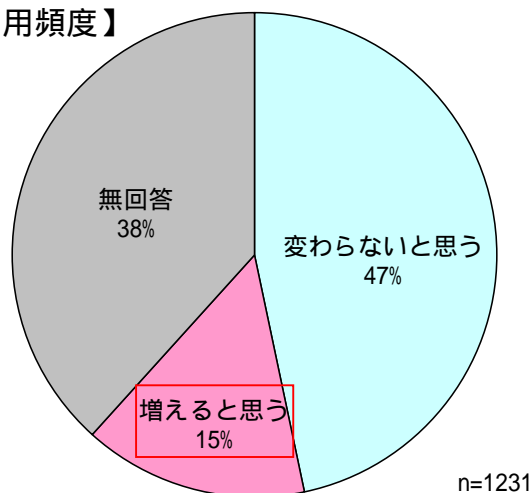
バスの改善要望としては、「路線図や停留所、運行時刻など、分かりやすく利用しやすい情報の提供」が最も多く、次いで「土日祝日の運行」「利用するとき予約すると、家の近くまで迎えに来てくれる運行」となっている。



## 改善実施後の利用頻度について

市営バスの改善を実施した場合、約 15%の人が利用頻度は「増えると思う。」と回答している。

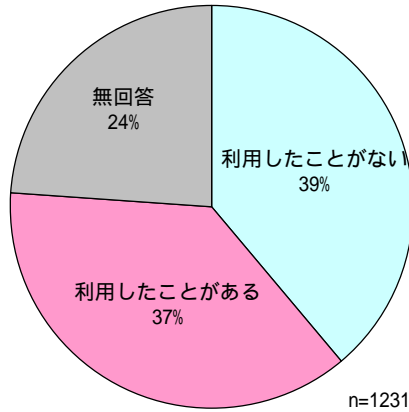
### 【市営バスの改善後の利用頻度】



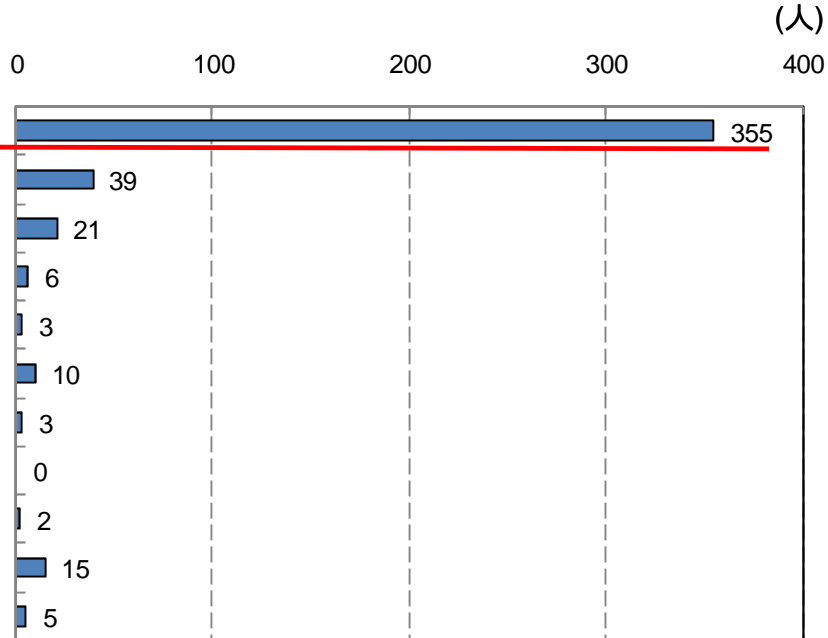
### 鉄道の利用頻度

鉄道は、39%の人が「利用したことがない」と回答しているが、一方で利用している人の大半が250回/年以上利用している。

#### 【鉄道の利用】



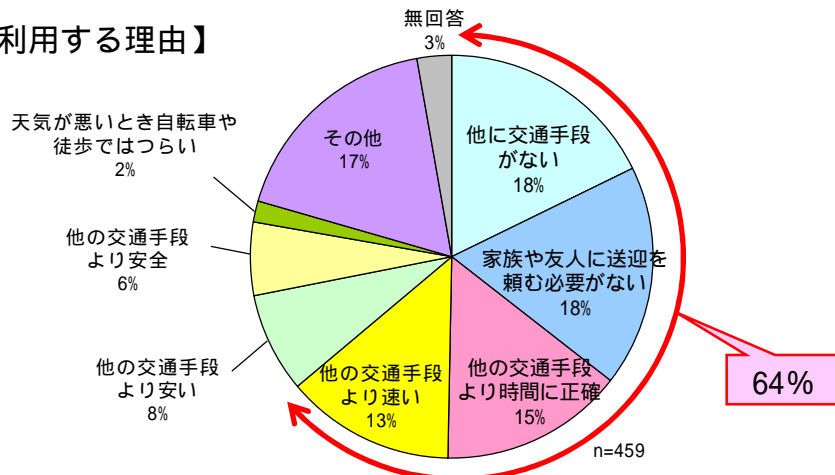
#### 【鉄道の利用頻度】



### 鉄道を利用する理由

「他に交通手段がない」、「家族や友人に送迎を頼む必要がない」、「他の交通手段より時間に正確」、「他の交通手段より速い」が主な理由となっている。

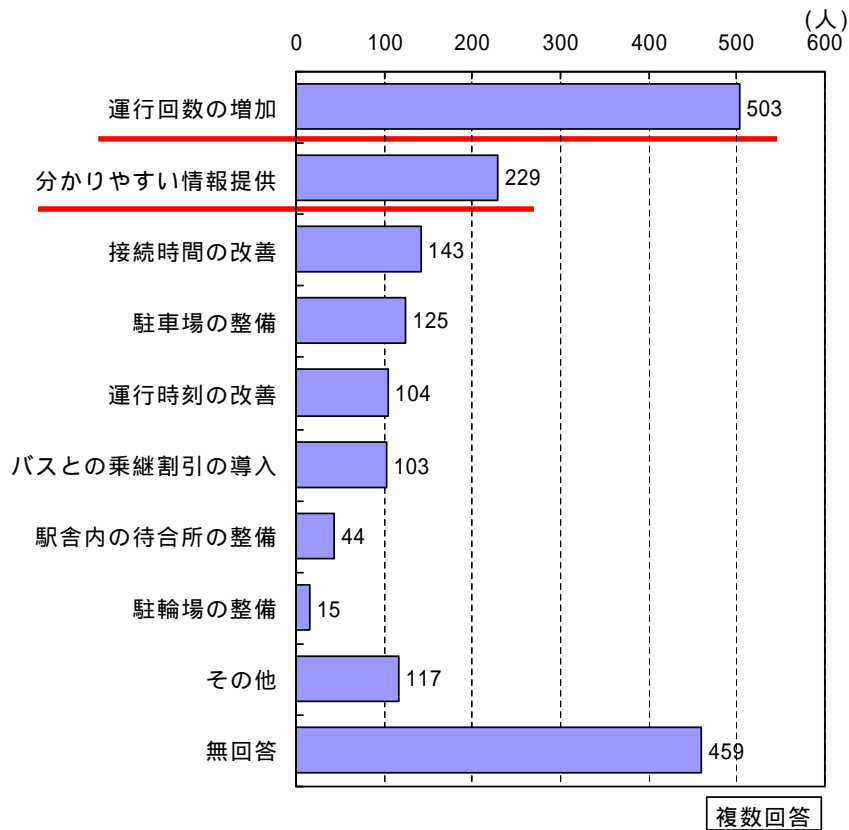
#### 【鉄道を利用する理由】





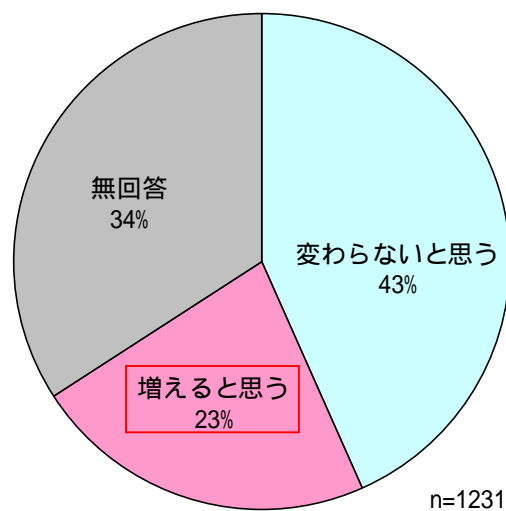
## 鉄道の改善要望

鉄道の改善要望としては、「運行回数の増加」が最も多く、次いで「バス路線図、バス時刻など、バスとの乗り継ぎが分かりやすい情報の提供」となっている。



## 改善実施後の利用頻度について

鉄道の改善を実施した場合、約 23%の人が、利用頻度は「増えると思う。」と回答している。

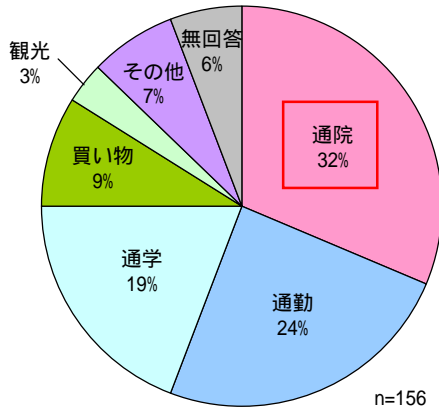


## 2.3 公共交通利用者の意向の概要

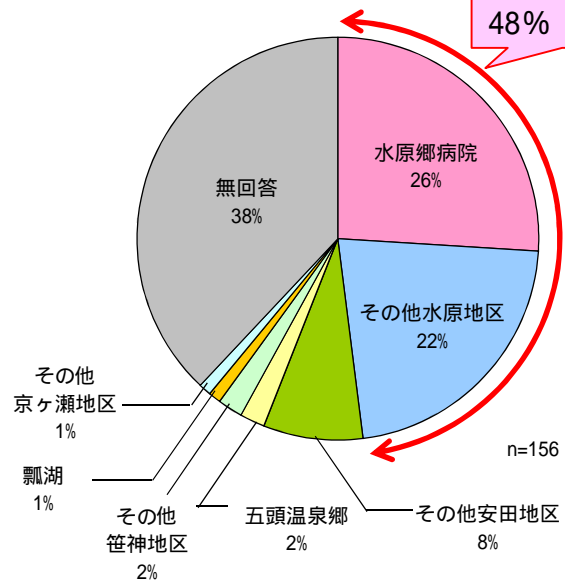
### 利用目的と目的地

利用目的は「通院」が32%で最も多く、目的地は「水原郷病院」を含めた水原地区が48%となっている。

#### 【利用目的】



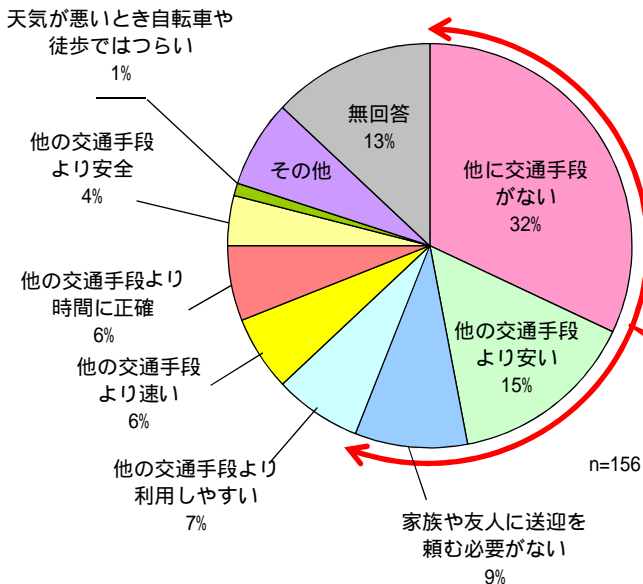
#### 【目的地】



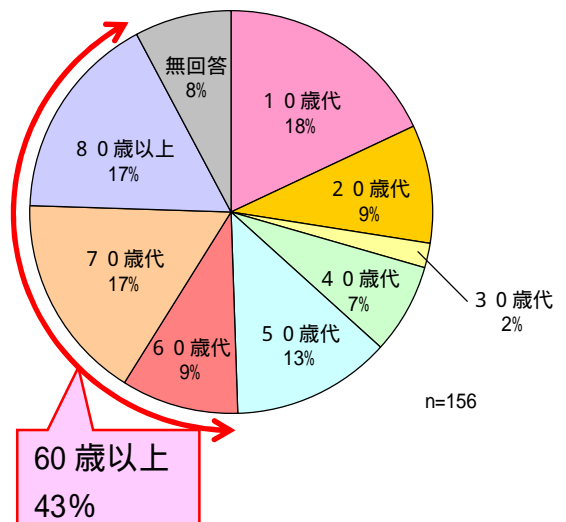
### 公共交通を利用する理由

利用者の年齢層は、60歳以上が43%を占めており、高齢者の利用率が高い。その主な理由として、「他に交通手段がない」、「他の交通手段より安い」、「家族や友人に送迎を頼む必要がない」が挙げられる。

#### 【公共交通を利用した理由】



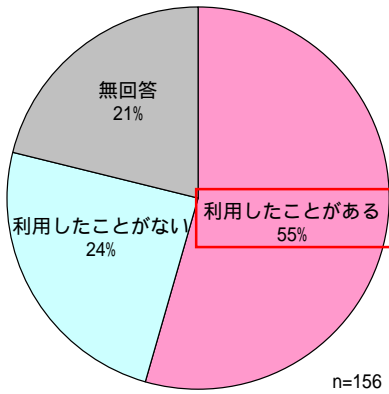
#### 【利用した年齢層】



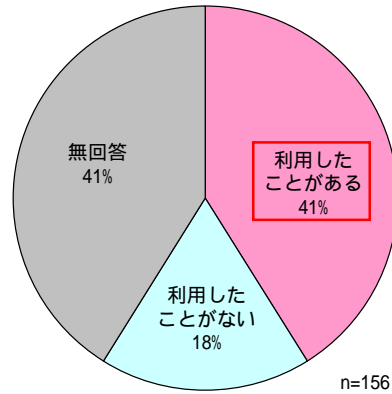
## バスの利用状況

バスの利用状況は、市営バスより路線バスの利用者数が少ない。利用回数は、市営バスで 101～150 回未満/年が 16 人(利用者の 19%)、路線バスの利用頻度が 10 回未満/年が 17 人(利用者の 26%)となっており、共に利用頻度は高くない。

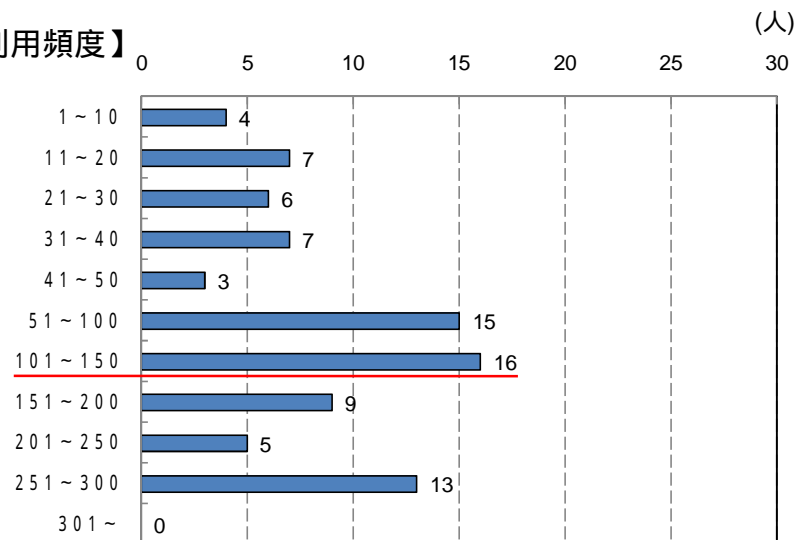
### 【市営バスの利用状況】



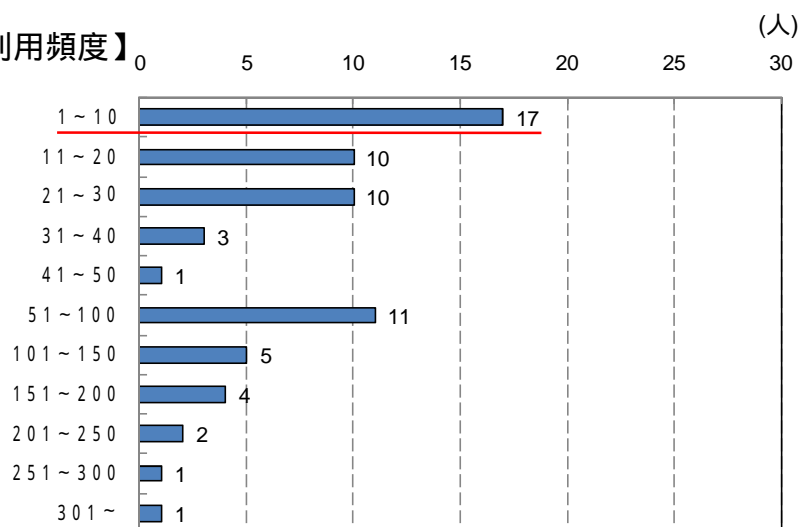
### 【路線バスの利用状況】



### 【市営バスの利用頻度】



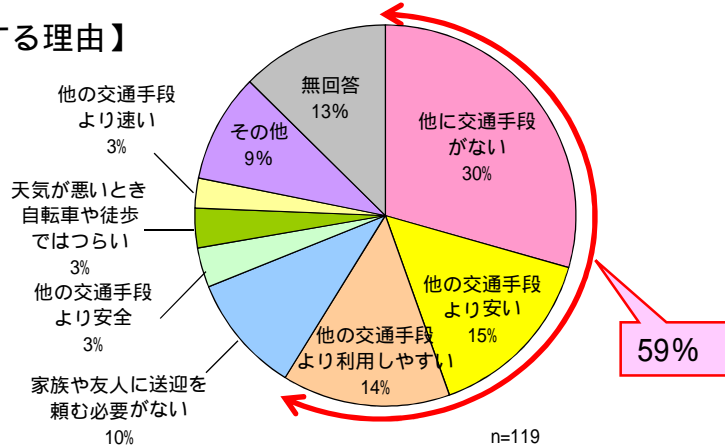
### 【路線バスの利用頻度】



### バスを利用する理由

「他に交通手段がない」、「他の交通手段より安い」、「他の交通手段より利用しやすい」で59%を占めている。

#### 【バスを利用する理由】

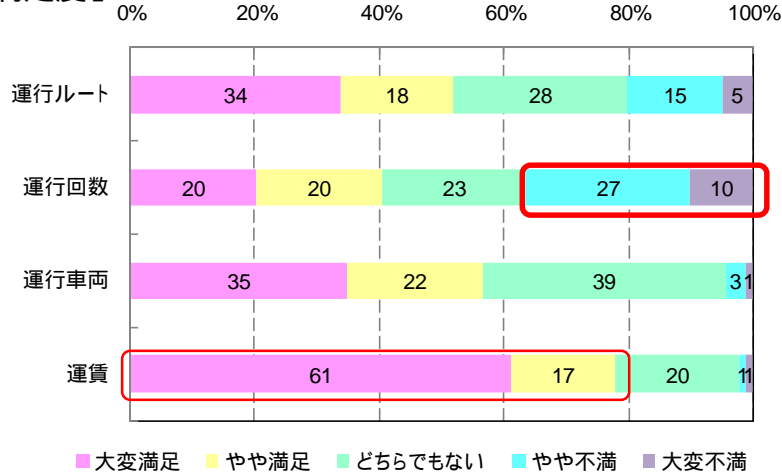


### バスの満足度

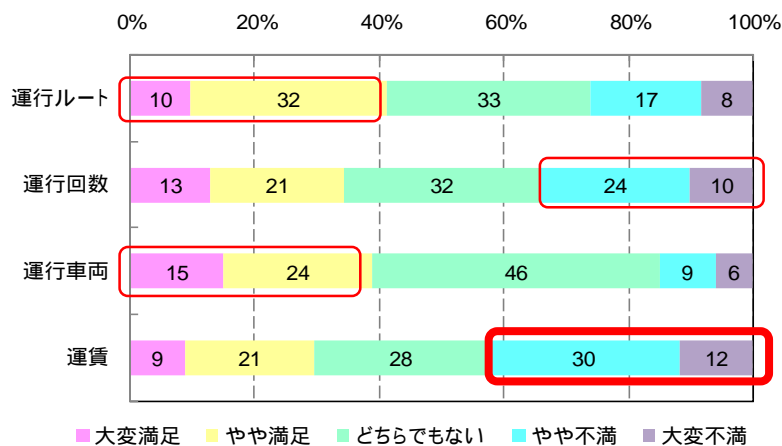
市営バスは「運賃」の満足度が高い。路線バスは「運行ルート」「運行車両」の満足度が高く、「運賃」への不満が高い。

また「運行回数」については、市営バス・路線バスともに不満が高い。

#### 【市営バスの満足度】

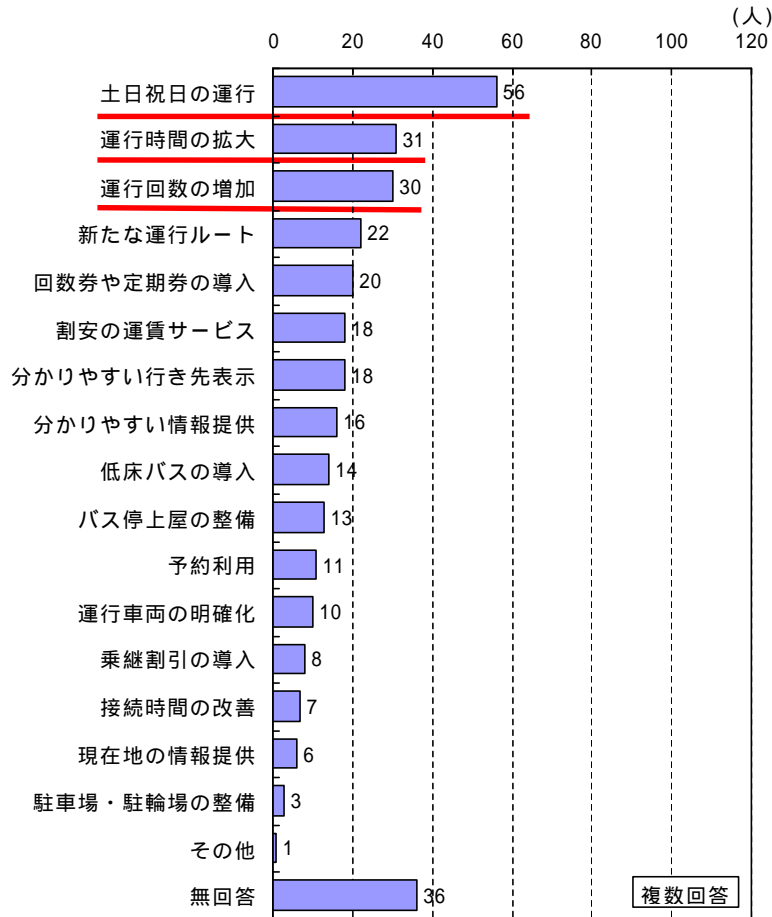


#### 【路線バスの満足度】



## バスの改善要望

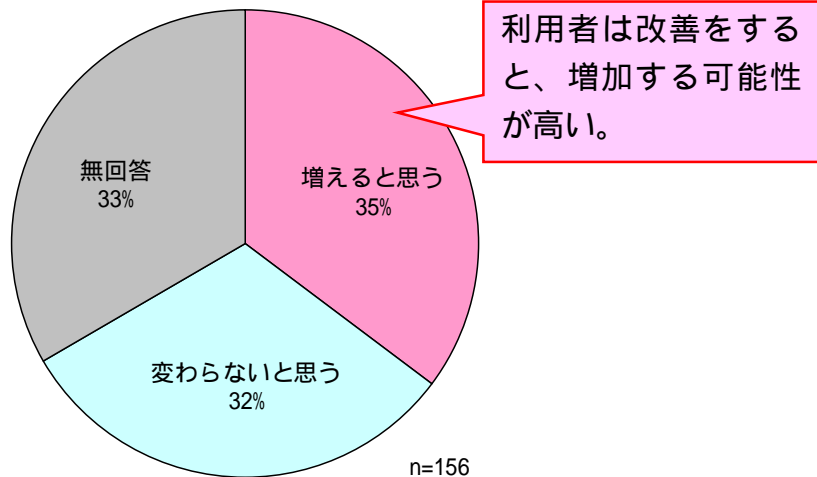
バスの改善要望としては、「土日祝日の運行」、「運行時間の拡大」、「運行回数の増加」が多い。住民に多い意見の「路線図や停留所、運行時刻など、分かりやすく利用しやすい情報の提供」はあまり多くない。



## 改善実施後の利用頻度について

市営バスの改善を実施すると、約 35% の人が、利用頻度は「増えると思う。」と回答しており、利用者は更に増加する可能性がある。

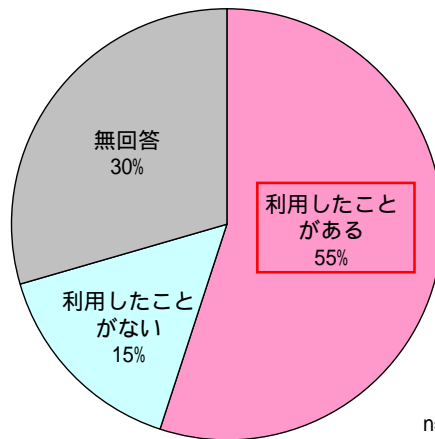
### 【市営バスの改善後の利用頻度】



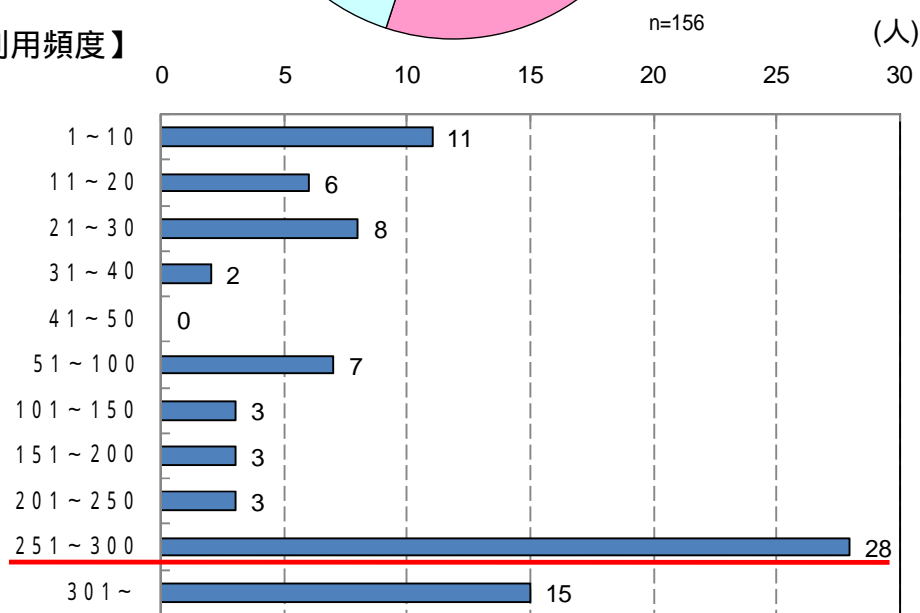
### 鉄道の利用頻度

鉄道利用は、55%の人が「利用したことがある」と回答しており、利用している人の大半が250回/年以上となっている。

#### 【鉄道の利用】



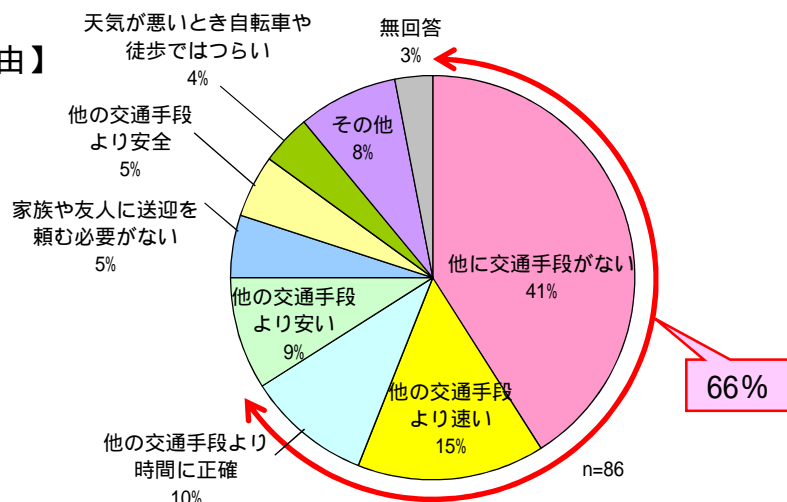
#### 【鉄道の利用頻度】



### 鉄道を利用する理由

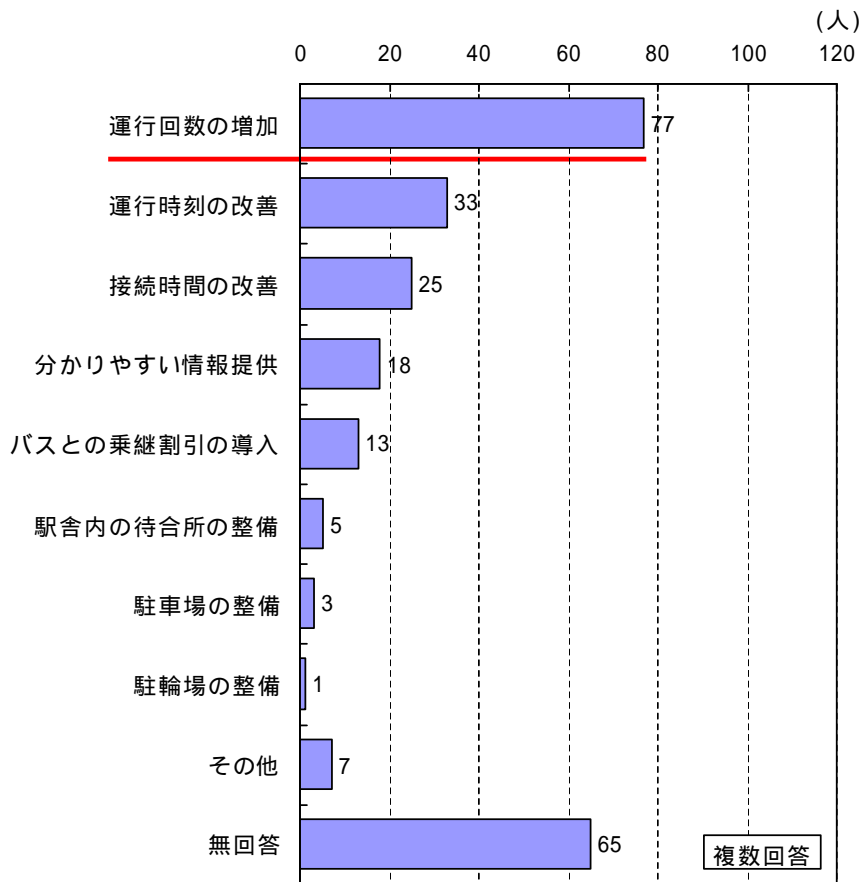
「他に交通手段がない」、「他の交通手段より速い」、「他の交通手段より時間に正確」が主な理由となっている。

#### 【鉄道を利用する理由】



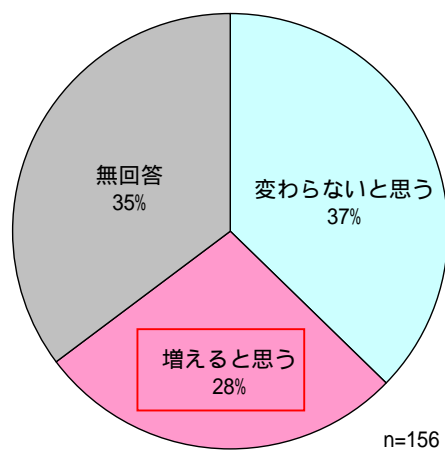
### 鉄道の改善要望

鉄道の改善要望としては、「運行回数の増加」が最も多く、次いで「運行時刻の改善」となっている。



### 改善実施後の利用頻度について

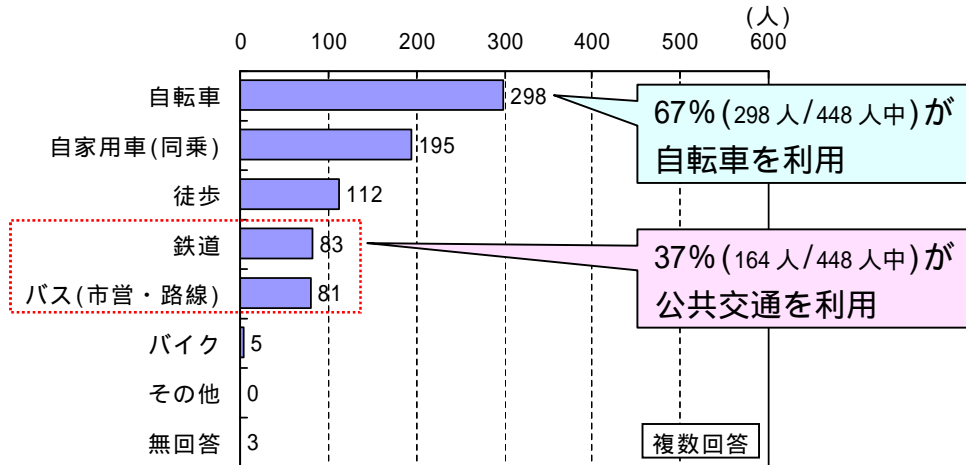
鉄道の改善を実施すると、約28%の人が、利用頻度は「増えると思う」と回答している。



## 2.4 高校生の意向の概要

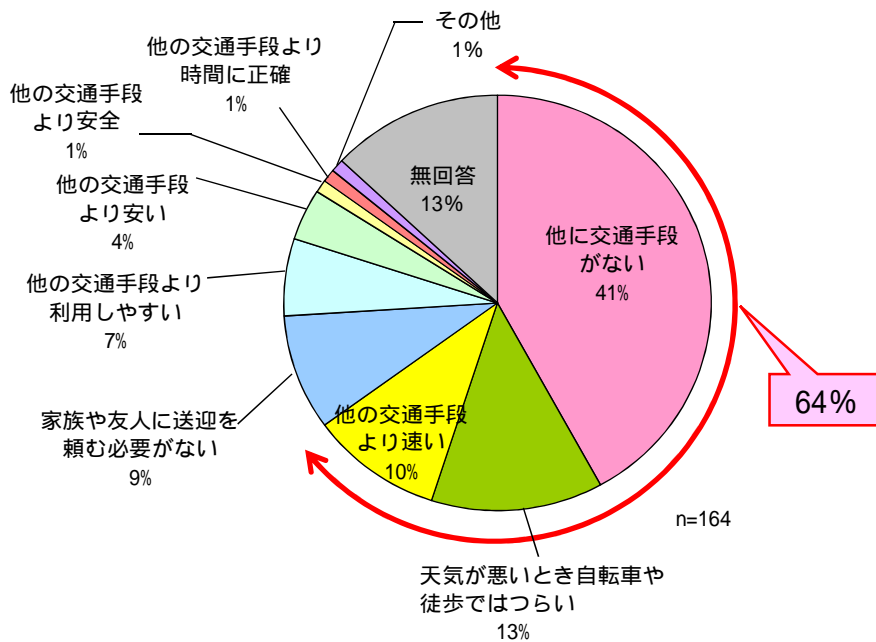
### 登校時の交通手段について

「自転車」を利用している生徒が67%、「公共交通(鉄道・バス)」を利用する生徒は37%である。



### 公共交通を利用する理由

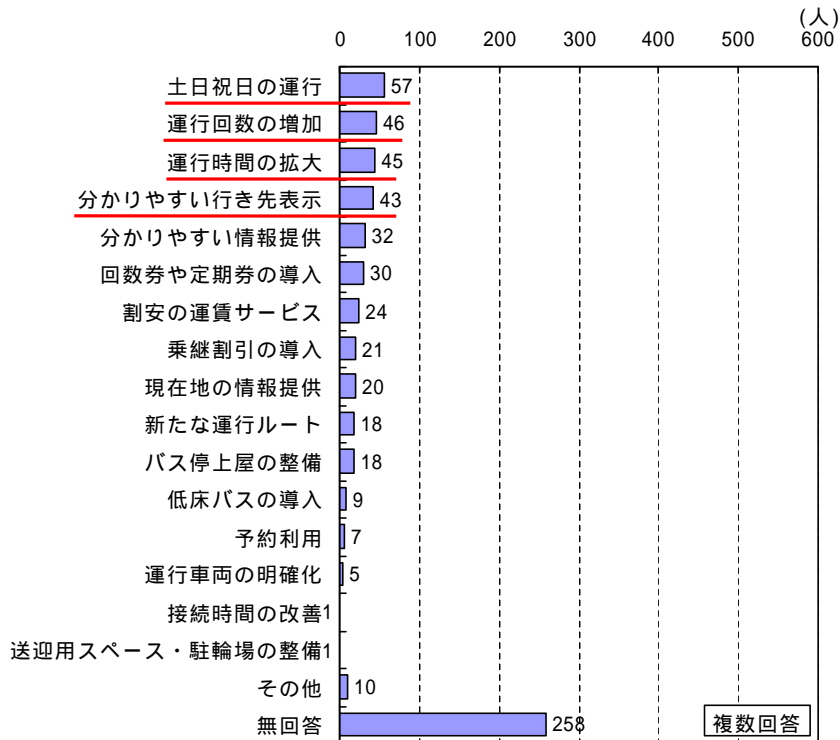
「他に交通手段がない」、「天気が悪いとき、自転車や徒歩ではつらい」、「他の交通手段より速い」で64%を占めている。





### バス交通の改善要望

「土日祝日の運行」が最も多く、次いで「運行回数の増加」「運行時間の拡大」「分かりやすい行き先表示」となっている。



### 鉄道の改善要望

「運行回数の増加」が最も多く、次いで「運行時刻の改善」「バス路線図や、バス時刻など、バスとの乗り継ぎが分かりやすい情報の提供」となっている。

